

## 児童・生徒、保護者への依頼文

小学校5・6年生とその保護者様  
中学生とその保護者様

鳩山町教育委員会  
鳩山町校長会

### 35人学級の成果と課題についてのアンケートのお願い（依頼）

保護者の皆様には学校教育に対し、深いご理解とご協力をいただき心より感謝を申し上げます。さて、小・中学校の学級の人数については、国の法律で小学校1年生は35人以下と定められていますが、それ以外は40名以下（40人学級）と定められております。

鳩山町では、児童・生徒の学校における学習や生活の環境改善を目的に、平成22年度から中学校で35人学級を制度として取り入れ、平成26年度からは小学校にも導入しております。

35人学級を制度として取り入れている市町村は非常に少なく、先進的な取り組みであると評価されております。

鳩山中学校に35人学級を制度として取り入れてから5年が経過しましたので、その成果と課題について検証し、更なる教育の充実に資する目的で、アンケートを実施したいと思っておりますので宜しくご協力をお願いいたします。

アンケートは、鳩山町内の「教職員、小学校5・6年生とその保護者、中学生とその保護者」にお願いし、アンケート結果については、町の広報紙やHPで公開したいと考えています。

**※40人学級では、小学校において、児童数が1学級あたり41人以上の場合は2学級となりますが、35人学級では、36人以上になると2学級になります。（今宿小5年、鳩山小3年）**

**※40人学級では、中学校において、生徒数が1学年あたり121人以上の場合は4学級となりますが、35人学級の制度では106人以上になると4学級になります。（鳩中2・3年）**

### ○資料（学校制度等の大まかな歴史）

江戸中期になると、武士階級の子弟が学ぶ藩校と町民の子弟が学ぶ寺子屋が隆盛を極め、その時代の教育を支えた。明治5年に新たな学校制度が定められたが、義務教育としての学校制度が始まったのは明治19年になってからである。（4年間の義務教育・1学級80名以下）

その後、義務教育期間は明治40年に6年間、昭和16年に8年間、昭和22年に9年間となり、現在に至っている。学級の人数は、昭和34年から50人学級、昭和39年から45人学級、昭和55年から40人学級となり現在に至っている。

文部科学省は、平成23年度から順次35人学級を制度として取り入れ、平成28年度までには義務教育の学級定員を35人とする計画であったが、財政負担やその効果についての検証が十分ではないとの理由から、その後35人学級の計画は進まず、現在、小学校1年生のみ35人学級となっている。

平成13年度からは、都道府県教育委員会の判断で、学級編制の弾力化が認められるようになったことから、埼玉県では、小学校2年生に35人学級を導入し、中学1年生に38人学級を導入し、現在に至っている。